創刊の辞

林貴啓

（立命館大学・上智大学グリーフケア研究所ほか非常勤講師、

『いのちの未来』編集顧問）

このたび、京都大学大学院人間・環境学研究科共生人間学専攻、カール・ベッカー研究室より紀要『いのちの未来』を刊行する運びとなった。

もはや「21 世紀に入って…」と言われることもなくなった現代社会は、まさに人間とは何か、いのちとは何かを、未来に向けて問わなければならない課題に満ちている。人の命に手を加える領域に踏み込みつつある生命倫理、この地球が悠久の時をかけて育んできた生命のシステムと、はるか遠い未来の人たちの生命と生活にまで関わる環境倫理、人の生き死の意味を根本から問いかけるスピリチュアリティ、死生観の問題……。

ベッカー研究室は、私が薫陶を受けた頃より一貫して、こうした問題に対して、さまざまな領域から学問的洞察を深めつつ、真摯に取り組む人たちが集う場であり続けている。当紀要がその成果を世に発信する媒体として、ひいては現代社会に一石を投ずるよすがとして意義を発揮してゆくことを祈念したい。

2015 年 3 月吉日